試料・情報分譲申請用研究計画書（概要）

研究番号	2025-0061	主たる研究機関	国立大学法人 浜松医科大学	分担研究機関	なし
研究題目	新規泌尿器科癌易罹患性遺伝子バリアントの同定			研究期間（西暦）	承認日 ～ 2031 年 4 月 30日
実施責任者	新村 和也	所属	腫瘍病理学講座	職位	教授

研究目的と意義	泌尿器科癌へのなりやすさを決める遺伝的因子は未だ十分に分かっていません。泌尿器科癌の患者さんと非癌者の方の間で遺伝子バリアントの頻度を統計学的に調べることでその因子を明らかにすることを目的とします。本研究は、その成果を泌尿器科癌の発症リスク解明という形で活用し、被災地住民を含む国民全体の健康増進へ還元しようとするものです。
研究計画概要	浜松医科大学での研究課題14-076の研究で、環境因子の影響が相対的に小さい若年発症例に着目し、浜松医科大学で構築した日本人コホートから同群を抽出して、泌尿器科癌の遺伝的易罹患性（なりやすさ）を規定する候補バリアント24個をリストアップし、遺伝子型をタイピングしている途中です。東北メディカル・メガバンク計画（TMM計画）のコホート調査参加者の遺伝子解析データと浜松医科大学での研究課題14-076（膀胱癌 250例、腎癌350例）の遺伝子解析データをペアとして、年齢・性別・喫煙歴等を調整した多変量ロジスティック回帰分析などを行い、遺伝学的妥当性を検証します。解析は癌種毎に分けて行います。加えて、病理学的検査因子などを用いて層別化解析も行います。これにより、泌尿器科癌易罹患性（なりやすさ）を規定するバリアントを同定することを目指します。
利用するもの	対象： ■地域住民コホート調査 ■三世代コホート調査 試料： □ DNA □ 血漿 □ 血清 □ 尿 □ 母乳 □ 単核球 □ EBV不死化細胞 □ 増殖T細胞 情報： ■ 基本情報 ■ 調査票情報 ■ 検体検査情報 □ 特定健康診査情報 □ 生理機能検査情報 □ メタボローム解析情報 □ マイクロバイオーム情報 □ 認知・心理検査情報 □ MRI画像解析情報 □ MRI画像情報 □ 全ゲノム解析情報（全て） ■ 全ゲノム解析情報（特定領域） □ SNPアレイ情報（全て） □ SNPアレイ情報（特定領域） □ その他の情報（ ）
期待される成果	泌尿器科癌易罹患性（なりやすさ）を規定する遺伝子バリアントが明らかにされる可能性があります。本知見は、泌尿器科癌の高リスク群の抽出に役立つ可能性があります。
これまでの倫理審査等の経過および主な議論	浜松医科大学生命科学・医学系研究倫理委員会で承認されました(研究番号：26-038)。
倫理面、セキュリティー面への配慮	分譲されるデータはネットワークから切り離されたスタンドアローンPCの環境で分譲データを閲覧・解析します。使用するPCは浜松医科大学腫瘍病理学講座にある鍵庫に保管します。
その他特記事項	

（事務局使用欄）

*公開日：2026年7月30日